

教育事業別報告書

事業名	第3回なすかしの森ファミリーミーティング
趣旨	なすかしの森友の会会員の幼児・小中学校及びその保護者を中心に、自然体験を通して親子の絆を深める。また、自然体験のすばらしさを知り、興味関心を抱くきっかけとなる機会を提供することを目的とする。
期間	平成28年10月22日(土)～10月23日(日)
募集人員 (募集結果)	幼児、小・中学校を含む家族 2家族 7名

① 事業の特色

本事業は四季の移ろいに合わせて年6回シリーズで展開しており、今回はその第3回目として実施した。活動の目玉は、「段ボールオーブン」作りとそれを使った「なすかしの森オリジナルピザ」作りである。併せてミネストローネとローズマリーポテトを作り、親子で秋の味覚満載の夕食作りに挑戦した。

初日の「段ボールオーブン」作りでは、親子で協力してオリジナルの「段ボールオーブン」を完成させると、ピザを粉からこねて発酵させ、トッピングした生地を実際に「段ボールオーブン」で焼いた。段ボールの隙間からほのかに蒸気交じりの白煙が上がるのを待つこと約30分、見事に熱々のピザが焼きあがった。参加した親子からは、「今回初めて『段ボールオーブン』作りに挑戦したが、作り方に工夫を加え、家でもう一度作ってピザを焼いてみたい。」「段ボール箱と炭火で本当にピザが焼けるのか半信半疑だったが、おいしく焼けて嬉しかった。『段ボールオーブン』は記念に持って帰りたい。」などの感想が寄せられた。

2日目は紅葉に染まる「なすかしの森」を親子で散策し、ビニールプール一杯分の落ち葉を拾い集めて「落ち葉のプール」作りをした。全身で「落ち葉のプール」に飛び込んだ子供たちは、「思ったよりふわふわしていて柔らかい」「お布団の中にいるみたいに暖かい」などの歓声をあげていた。

直前のキャンセル等により参加者は減ってしまったが、親子で秋の「なすかしの森」を堪能した2日間であった。



② 事業の成果と課題

〈事業の成果〉

- ・今回、当所では初めて「段ボールオープン」作りを取り入れたが、当機構のホームページに掲載されている「体験・遊びナビゲーター」の情報が参考になった。
- ・活動の工程を、①「段ボールオープン作り」、②ピザの生地作り、③ピザ焼きと、親子で協力する過程として複数段階用意したことで、親子間での役割の連携や分担、協力する姿を多く見ることができた。

〈事業の課題〉

- ・今回は家族の体調不良や保護者の都合などにより直前のキャンセルが複数発生したため、キャンセル待ちや二次募集など、募集締め切り後も応募状況に即した対応を継続して行っていくこと。
- ・今年度は、本事業の前後に親子向けの事業を連続して組んでいたりと、本事業の実施日程が地元公立中学校の文化祭と重なったりしたため、実施日程の事前調整を万全にすること。

(事業推進室長兼事業推進係長 安達 拓人)